

白浜レスキューネットワーク通信 4月号  
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8  
TEL&FAX0739-43-8981  
<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>  
e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

4月1日～4月30日

電話件数 65件

保護件数 0件

保護は一件もなく落ち着いた一か月を過ごすことができました。

### 生活自立支援活動

4月1日～4月30日

滞在者数 14人(男性13人、女性1人)

○旅館で働いている男性がアパートを借りて自立した。ちょうど昨年4月に保護されてから1年、ここでの生活も仕事も共によく頑張った。アパートは近くにあるのでこれからも良い関わりを続けていければと思う。

○まちなかキッチンで働く20代の男性が、仕事中ミスした相手に腹を立て、怒って飛び出しました。この男性は以前から自分の内にあるストレスや不満をためこみ、我慢できなくなるところを超えると爆発してしまう。そのことと向き合い、変わろうと努力していた最中だった。飛び出した後5日後に自分で帰ってきた。預けているお金をもらって別の所へ行きたいということだったが、もう一度話をし、2日考える時間をもった。その結果、もう一度ここでやり直すことになった。

○2月に保護された女性は、少し元気が出て、まちなかキッチンの皿洗いに加わるようになった。少しお金が稼げるようになりたいと就職活動にも意欲が出ている。一度書類と荷物を取りに実家に帰ってくることもできた。親からも連絡が入り、自立に向けて頑張っていること、病院に通い薬を飲んでいることを話した。

○うっ血性心不全で入院していた男性が、退院後就職活動をしていたが、近くの温泉の管理の

仕事に就くことができた。3交代性で、不規則なためなかなかそのリズムに体を慣らしていくのに苦労しているが、一時期は、もう働けないかもしれないところまでいったので、働けることに喜びを感じている。無理せず頑張っしてほしい。

### 自殺予防活動

・放課後クラブ・コペルくん

新年度に入り、メンバーが加わった。新1年生の男の子が、給食が始まるまでの間、約2週間、お弁当をもってコペルくんにきた。遊んだり、お手伝いをしたりして時間を過ごしていたが、他の子が帰ってくるまでの3時間は長く感じられた。念願の初給食はカレーライスと、フルーツポンチ。「明日も山盛り食べるぞ！」と意気込んでいた。初めて宿題をもってかえってきた姿が初々しかった。他にも4年と3年の姉弟、2年生の女の子が加わった。続けてきている子供たちもクラス替えや先生が変わったことでまた意識に変化がみられる。



←教会の屋上で育てているトマトを収穫



→将来パティシエになりたい2人とケーキ作り。

### 相談電話

1日、8日、15日、22日、29日に行なった。今月も一人の相談員が来てくださった。相談者との信頼関係も築くことができている。